

第16回 令和5年度 第2回 地域密着型通所介護運営推進会議録

事業者名	株式会社 修峯	
住所	長崎市布巻町534-1	
事業所名	デイサービス 花いちもんめ	
住所	長崎市布巻町534-1	
サービス種類	地域密着型通所介護	
開催日時	令和6年3月19日(火) 18:00~19:00	
開催場所	サービス付き高齢者向け住宅 ラピナスの園	
出席者	有識者 ・ ご家族	地域住民の代表：布巻町自治会 会長 山下幸里様 長崎市南部地域包括支援センター ；松本雄一郎様 メディカルネットワーク居宅介護支援事業所 CM：本多夏季様 入居者家族：T夫妻様 入居者 ；S様
	事業所	施設長：高以良宏 ホーム長：松尾峯子 職員：植田智津子、渡邊文子、弥永信吾、一ノ瀬祥子
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動状況の報告 2. 地域との連携等に関する報告 3. 事業所の運営に関する報告 4. 有識者のご意見やアドバイス 5. その他 	
会 議 録		
<p>1. 活動状況の報告</p> <p>【運営推進会議再開について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月（第8回令和1年度第2回）から新型コロナウイルス感染防止のため中止していた運営推進会議を、4年ぶりに開催する運びとなりました。皆様には書面のやり取りで何度もお手数をお掛けし、ご理解とご協力を賜りましたことを感謝致します。施設では感染防止のため玄関先での面会制限を継続しており、皆様にはご不便をおかけしていますが、地域連携の枠を少しずつ広げて行きたいと思っております。 <p>【運営状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在入居者数 19人（男性：6人／女性：13人） 内訳；要介護5：5人 要介護4：7人 要介護3：4人 要介護2：2人 要介護1：1人 その他：0人 <p>【施設の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年4月より施設長を交替しましたので、今後とも宜しくお願い致します。 施設長 高以良 宏 ホーム長 松尾 峯子 ・新型コロナウイルス感染による面会制限が緩和されて、ようやくご家族の面会を時間制限しながらもさせて頂いています。他の感染対策の面から山下自治会長様や地域との交流もなかなか出来ないままご迷惑をお掛けしました。布巻町に平成28年4月から地域密着型デイサービスを開設して以降、自治会がボランティア活動にも熱心に取り組んでいる川の清掃等も以前は参加させて頂きました。幸い当施設には現在、男性スタッフが揃っており頼もしい限りです。 今後出来るだけ参加してご恩返しができ、地域密着型デイサービスとして運営していければと願っています。 		

【各事業所の報告】 R. 5. 10～R. 6. 3

《デイサービス 花いちもんめ》

利用数 22名／内訳：ラピナスの園 20名、自宅送迎利用 2名

- <10月> 「長崎くんち」の録画・配信映像を見ながら、ココロデショウなど、くんちの出し物をご利用者と職員一緒に話題を出して大いに盛り上がっていました。
- <11月> 秋の味覚の一つ“さつまいも”をデイサービス外の玄関先広場で焼いて、ご利用者と職員が美味しい臭いと共に季節を感じながら、普段中々食事が進まない方でも美味しく笑顔で食べていました。
- <12月> クリスマス会を行いました。職員の果物たっぷり入の手作りケーキをご利用者と職員一緒に食べたり、ビンゴゲームを行ってご利用者全員頂いた景品を見て、大変喜ばれていました。年末に差し掛かると、今年一年の思い出や年が明けてからの話などをされ楽しまれていました。

【令和6年】

- <1月> 年が明けてご利用者一人一人に今年の抱負を言って頂いたり、書初めをして展示しました。また、近くの神社へ初詣に行き、皆さんで健康や安全祈願などのお詣りをして気持ちを新たにしました。途中皆でお茶をしたり、歌を唄ったり、記念撮影をしたりと久しぶりの外出を楽しめました。
- <2月> 節分の豆まきを行いました。鬼に扮した職員へご利用者がおもいきり豆を投げたりして盛り上がりました。また、長崎ランタンフェスティバルの時期になり、長崎市の中心部をメインに外出しました。朱に彩られた会場や市内のオブジェやランタンの飾りを見て喜ばれていました。
- <3月> デイルームでレクリエーションの一環として、ラーメン作りを行いました。昔からお馴染みのいろんな種類のラーメンを皆さんが選び、各々好みのものを食べて「ウーン 美味しい」と楽しめました。また、桜の時期にもなってきましたので、今月中にお花見を行う予定です。

※ これらの様子をHPにて掲載しております。
その他お知らせや情報など更新していますので、ご覧下さい。
また、LINEアプリにてTV電話面会サービスも行っています。
<https://www.hanaichi-monme.com>

※ 別紙の参考資料をご利用ください

《ヘルパーステーション 花いちもんめ》

【介護施設に於いて訪問介護が入る事でのご利用者（利）と職員（職）のメリット】

- (利)・・・ご利用者への個別援助をしていくので、ご利用者一人一人にあった丁寧なサービスの提供をする事が出来る。
- (利)・・・施設の職員皆でご利用者をみている為、一人では気付く事が出来なかったご利用者の小さな変化に、気付くことが出来る。
- (職)・・・ご利用者一人一人の介護度や状況が異なる為、様々なタイプ・状態の方の世話する事で、幅広い知識とスキルを、身に付けることが出来る。
- (職)・・・先輩等々からスキルを吸収する事が出来る。
- (利・職)・・・同じご利用者に対して、複数の職員が対応する為、何度も相談する事が出来る。
- (利・職)・・・同じ職場での勤務を長期的に行う為、ご利用者の長期的な経過を追う事が出来る。

※ 当施設では、看護師による口腔ケア・陰部洗浄の研修及び指導がある為、介護士のスキルも上がっています。

《サービス付き高齢者向け住宅 ラピナスの園》

①消防訓練（消火訓練・避難訓練） R. 5. 11. 21

：2階火災を想定しての避難訓練

オリオン電防様の立ち合いで、火災報知器、初期消火訓練を行った。
前回訓練より早い時間で避難する事ができた。

②消防訓練予定（消火訓練・避難訓練） R. 6. 3. 21

：夜間帯の火災を想定しての避難・通報・初期消火訓練。

長崎市南消防署の立ち合いで、避難訓練を行う。
限られた人員による入居者の円滑な避難訓練。

2. 地域との連携等に関する報告

- ・コロナ禍でボランティア活動及び自治会集会に参加することが出来なかったのが、コロナやインフルエンザが落ち着いてきたら、少しずつ地域への行事にも参加して行きたいと思えます。

<布巻町自治会 会長 山下様より>

- ・自治会では、月1回の清掃、大清掃（川や周辺の竹伐採、他）のボランティア活動をしており地域施設ではラピナスの園、三和病院、みのり園、他にご協力頂いています。
自治会では他に、消防訓練を昨年行いました。しかし、高齢化のため参加者が年々減少しており自治会存続の課題でもあります。そのためにも多くの施設の方にボランティア活動へ参加して頂き、自治会と地域施設との連携をとり一緒に活動して行きたいと思えます。

<施設より> 布巻町の老人会会長様に運営推進会議に是非ご出席頂きたく、自治会長様よりご紹介をお願い致します。

3. 事業所の運営に関する報告

1) 事故防止委員会の件

《ヒヤリハット》

- ・ヒヤリハットについて検証・再確認した。

2023年10/25～2024年1/15迄 9件

- 時間 : 午前 5件、午後 4件
- 場所 : 居室 4件、ダイルーム 3件、食堂 2件
- 内容 : 転倒 7件 その他 2件
- 改善策（転倒） : ・畳からの立ち上がり後に滑って転倒。靴の変更を行う。
・小まめな巡視による、入眠状態の確認。
・センサー設置したが、動き出し早い。居室変更検討。
・トイレ近くでの転倒。ルームシューズの検討。
・座位時はテーブルを前に。動き出しを考えての見守り。
・常に職員が近くにいる状況にしての見守り。

（その他） : ・ベッド柵の設置。ベッドリモコンの場所検討。
・テーブルの物品の確認。または配置の確認。

《事故報告》

- ・事故について検証・再確認した。

2023年10/25～2024年1/15迄 1件

- 時間 : 午後 1件
- 場所 : 居室 1件
- 内容 : 転倒 1件
- 改善策（転倒） : 巡回時の就寝状態の確認。居室電気・室温の確認。

2) 身体的拘束適正化検討委員会の件

- ・2023年10/25～2024年1/15迄 3名

身体的拘束解除に向けた検討：

- M様 ・抑制帯装着が必要、引き続き経過観察を継続する。
- O様 ・ベッド柵を4本柵とする。
 - ・抑制帯装置が必要、引き続き経過観察を継続する。
- H様 ・ベッド柵を4本柵とする。引き続き経過観察を継続する。

※ 3名の同意書にサインを頂いています。

3) 虐待防止委員会の件

- ・2023年10/25～2024年1/15迄

- ①ご利用者への声掛け： 職員でイライラが出る際は自分から離れ、他の方と交替する等言葉での拘束（スピーチロック）が常習化しないよう、その都度直していく。
- ②排泄の情報は、ご利用者にとってのプライバシーに関することですので、極力職員間でのみ聞こえる範囲で伝達する。

4) 感染対策委員会の件

- ・2023. 11. 7

■検討項目： 外傷処置について

- 討議事項：
 - ・皮膚抵抗力低下により、外傷増加。早期処置により回復しやすくするため、スタッフに必要性と方法を周知していく。
 - ・資料作成し、外傷のメカニズム・方法等をスタッフに説明。
 - ・実際にデモンストレーションを行った。
 - ・インフルエンザについて、注意喚起と予防方法を伝える。

- ・2024. 2. 6

■検討項目： 清潔維持による陰部洗浄

- 討議事項：
 - ・復習・勉強の機会として研修時間を設ける。
 - ・概要を資料で説明。
 - ・デモンストレーションを行った。
 - ・その後の補足、注意点、禁忌等の説明。
 - ・実際に各自基本的な指導を受けてもらうよう呼びかけ。

5) 研修の件

- ・研修 4件：
 - ①衛生推進者養成講習：一般社団法人安全衛生人材開発協会
 - ②令和5年度第2回地域ケア推進会議～見守り声掛け模擬体験～
：長崎市南部地域包括支援センター
 - ③認知症介護基礎研修：長崎県認知症介護指導者
 - ④健康経営セミナー：全国健康保険協会
- ・リモート研修 3件：
 - ①令和5年度介護BCP策定支援セミナー BCP策定（入所系）：厚生労働省
 - ②令和5年度介護BCP策定支援セミナー BCP訓練（入所系）：厚生労働省
 - ③令和5年度まちなかラウンジ 第2回多職種研修会
在宅医療各種課題検討会④「看取り」 看取りの事例発表会
～多職種連携による看取り支援を振り返り課題について検討する～
：長崎市包括ケアまちなかラウンジ
- ・施設内研修 9件：
 - ①認知症について
 - ②外傷処置
 - ③インフルエンザの予防
 - ④衛生推進者養成講習
 - ⑤見守り声掛け模擬体験
 - ⑥インフルエンザ感染対策
 - ⑦令和5年度 健康経営セミナー
 - ⑧清潔を保つ陰部洗浄
 - ⑨アンガーマネジメント

6) 広報より

・2023年度4月よりソーシャルネットワークキングサービス（SNS）配信を充実させています。PCだけではなく、スマートフォンやタブレット等インターネットに接続できる端末を用いて情報を発信しています。インターネットを通して大切なご家族の様子を世界中から見守ることができるようになりました。以前と比べ、気軽に投稿できるようになったと同時に、個人情報の漏洩には気を付けて配信して行きたいと思えます。

また、同業界の方との交流や情報交換を行い、ご利用者の暮らしをより良く支える幅も大きくなり、社会貢献に繋げる事が出来ています。ケアマネージャー様にも定評があり大変喜ばれています。一般の方からもコメントを頂くことがあり、「大変なことも多いお仕事であるが、皆様の熱意が困難を溶かしていくと思えます。頑張り過ぎないよう体には気をつけて下さい」と労いの言葉が書かれていました。大変嬉しい瞬間でした！ これからもご利用者に寄り添いゆっくり届けて行きたいと思えます。登録、高評価よろしくお願ひします。

Instagram フォロワー数： 136名

YouTube 登録者数： 41名

再生回数： 100,000回以上

7) 長崎市 監査報告

・10/10 3事業所（サービス付き高齢者向け住宅ラピナスの園、デイサービス花いちもんめ、ヘルパーステーション花いちもんめ）の監査が行われました。

ラピナスの園の立ち入り検査では監査員4人全員で、1F・2Fの検査が行われました。

1階の居室や防災カーテン、2階廊下の非常口階段に物が置かれていないか鍵を開けてチェックされたが、大きな指摘事項はなかった。

・書類では事業所毎に各項目に添って細かくチェックがあり、各事業所の“各委員会指針”を尋ねられましたが指針が一部未完成だったため、監査後に作成完了しました。

口頭指摘事項については、文書による回答を要しませんでした。後日、福祉課へ指摘事項の改善をして変更届を提出しました。

今回の監査を基に会社としてレベルアップし、これからもご利用者により良いサービスを提供して行きたいと思えます。

4. 有識者のご意見やアドバイス

<入居者家族：T夫妻様>

・母の入居により、県外の姉妹から母の近況を尋ねる連絡が度々ありましたが、施設のSNS配信によりデイサービス等の最新の様子が確認できるため、直接の連絡回数が減りました。コロナ禍で帰郷もままならなかったため、母の元気な姿を見て安心できたと思えます。

・母は1年前に入居しましたが、その当時より現在落ち着いておりデイにも参加し、時々カラオケや機能訓練を楽しんでいます。SNSを通し外部からも、母の日々の生活を垣間見られることはメリットだと思えます。

<長崎市南部地域包括支援センター：松本雄一郎様>

・南部地区でのSNS配信情報は少なく、又、個人情報の問題もありますが、ラピナスの園さんでは情報が多く、本日SNSを利用されているご家族の生の声を聞いて良かったと思えます。

・コロナ明けで色々な活動を再開され、会議や研修に参加協力を頂いています。今後も連携を取りながら多機関・多職種でのいろんな参加をお願ひしたい。

<地域住民の代表：布巻自治会 会長 山下幸里様>

・ヒヤリハット（転倒）について詳細をご教示ください。

【事業所より回答】

・転倒 7件の内、3件は同一人物です。

小まめな巡視による入眠状態の確認をし、また、靴を変えたり、P/Wにしたり、居室のレイアウトを変えて動きやすくしました。以降転倒がなくなった。

・他の転倒について、デイで立ち上がり後に滑って転倒。靴の変更を行う。

居室にセンサー設置したが、動き出し早く転倒。居室を変更した。

※ 昼の見守りも3人以上とし、安全対策を徹底して、今後も気を引き締めて行きたいと思えます。

<ケア・ネットワーク居宅介護支援事業所 CM：本多夏季様>

- ・初めてデイサービス花いちもんめの「地域密着型通所介護運営推進会議」に参加しました。日頃ケアプランを担当しており、他の施設で看れないご利用者を、最後まで看取りがあるラピナスの園さんへ紹介しています。入居時のご利用者の病院通院は、ご家族にとって負担になりますが、看護師常駐で安心して任せられるラピナスの園に、今後も迅速に対応して行きたいと思っております。ベッドの対応もしておりますので、よろしくお願い致します。

<入居者 S様>

- ・今年の8月で入居8年になります。昨年要介護2になりました。デイサービスの機能訓練では楽しみながら身体を動かしたり、また、施設周辺の草木のお世話をして季節を感じています。長年お世話になっているラピナスの園を“自宅と思っています”ので、今後ともよろしくお願ひします。

5. その他

- 本日はご多忙の中ご出席頂き、また、有識者の方の貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。当施設は看護師が常駐する事で医師との連携を密にして、医師の指示の元に医療的処置も可能ですので、退院後の処置が必要な方でも受け入れ可能です。施設での看取り介護も多くご本人だけでなく、ご家族の思いをより大切に「寄り添うケア」をモットとして、日々のケアを行っていきたく思います。
- 次回の第17回令和6年度第1回地域密着型通所介護運営推進会議は、ラピナスの園にて、令和6年9月に開催予定。



株式会社 修葺

ラピナスの園

サービス付き高齢者向け住宅

花いちもんめ

デイサービス・ヘルパーステーション

＼ SNS でも情報発信中 ／



Instagram

日常の様子をお届け



@RAPINUSGARDEN



ホームページ

お知らせ・求人・ブログなど
情報が盛りだくさん



<https://www.hanaichi-monme.com>



LINE
公式アカウント

ビデオ電話はこちらから



<https://lin.ee/A44h22d>

YouTube

動画配信してます



ラピナスの園 花いちもんめ
@user-nz3qi4fi5r